

ひらふく庭あそび

文・写真 大嶋啓靖

前 日までの雨予報に、きっと気を揉んだ人は多かったはず。幸い当日は薄曇りの回復傾向で、株式会社かのね主催の「ひらふく庭あそび」は9月20日（土）の夕方、無事に開催されました。

KUMOTSUKIの庭にDJさんのBGMが流れ、飲食出店のテントの間を浴衣姿のお客さんが、宙に舞うLEDランタン「スカイランタン」片手に、晩夏の夕暮れをのんびり遊ぶ、そんなイベント。

スカイランタンはヘリウムガスで宙に浮き、ボタン電池付きのごく小さなLEDライトで光ります。ガスが充填された風船は和紙で覆われ、文字や絵で自由に装飾できます。風船には凧のように糸が繋がっていて、傘の柄のような取手がおもりの役目を果たすので、飛んでいってしまう心配はありません。

まだ明るい時間帯に見るその光はとても弱々しく、大きな白い風船の下っちょに、ちょこんとついた橙色の点にしかな見えません。でも、日が暮れて辺りに夕闇が広がるにつれ、紙の風船全体が橙色に光って見えだす不思議。それが50個集まり一斉に宙に浮かぶと、KUMOTSUKIと和装の佇まいが合わさって、なんとなく幻想的な雰囲気に。当然そこにいる人たちみんなが一斉にカメラマンになりました。雨が止んでホント良かった。

川端土蔵群のライトアップも同時開催されました。最初は人が少なかったけれど（KUMOTSUKIに集中?）、そのうちにスカイランタンを手にした人もやってきて、いっときライトアップとスカイランタンのコラボレーションが楽しめました。



「モノクロ平福」プロジェクト 年賀状のご案内

文 大嶋啓靖・デザイン 鈴木哲矢

年の瀬が迫ってまいりました。年末年始のアレコレに思いを馳せることも増えてきたことでしょう。「年賀状じまい」という言葉が耳に馴染んできた昨今ですが、やり取りの減った年賀状を、それならばむしろ、ちょっと趣向を凝らしたものにしてみませんか？

平福地域づくり協議会では、記憶彩る「モノクロ平福」プロジェクトの一環として、古い写真を使ったオリジナル年賀状を制作します。こちらで選定した数枚の写真の中からお好みの1枚をお選びいただけます。印刷には郵便局の年賀はがきインクジェット紙を使用し、「謹賀新年」の文字をエンボス加工であしらいました。

年賀状は原価でのご提供となります。詳細・申込方法については、別紙チラシをご覧ください。



※本プロジェクトで使用する年賀状は、郵便局発行の「お年玉付き年賀はがき（インクジェット用）」を使用します。郵便法上の定めにより、はがき自体の販売は行わず、印刷費のみ（1枚あたり100円）を原価としてご負担いただきます。なお、ご希望の方には事務局にてはがき代（1枚あたり85円*）を立替え、実費精算にてお渡しいたします。*2025年発行分より郵便料金の改定により1枚あたり85円。

行灯のあかり並ぶ、平福納涼祭

文 松田航、写真 野村久雄（動画から切出し）

8月14日、今年も平福納涼花火大会が開催されました。

開始直後の18時頃から夕立に見舞われ、開催が危ぶまれましたが、19時頃には雨も上がり、無事に花火を打ち上げることができました。

今年の花火大会では、昨年に続き川端土蔵群のライトアップが行われ、会場までの道中を照らす行灯が「おもてなし会」によって設置されました。今回、この行灯について取材しました。

行灯は今から20数年前、近隣の町で廃材の竹などを使った行灯づくりを見聞きしたことをきっかけに、「ぜひ平福でも!」という思いから、当時の「ほっと」のメンバーを中心に多くの人の協力を得て制作されたそうです。

完成した行灯は七夕飾りとともに平福の表通りを照らし、その評判は広まり、「行灯を出してもらえませんか?」という依頼も多く寄せられたといえます。かくいう私も、平保育園（現・利神保育園）の夕涼み会で行灯を出していただいたことがあり、子どもたちが楽しそうに歩く姿を今でもよく覚えています。

しかしその後、水害やコロナ禍による自粛、そして人口減少などによりイベント自体が減少し、行灯の出番は次第に少なくなっていました。

そんな中、昨年の花火大会でライトアップを行うことになり、「それなら会場までの導線に行灯を置こう」と提案されたのが復活のきっかけでした。設置したところ大変好評で、今年も続けて設置することになったそうです。さらに今回は「せっかくなら!」と、5月頃から大幅なリニューアルも行われました。従来の行灯に使われていた紙をできる限り残しつつ、より長く使

えるよう補強も施されたとのこと。

迎えた当日、せっかくのお披露目の時に雷雨となり「今年は出番がないかも…」と諦めかけていたところ、雨上がり直後に自治会長さんたちが率先して並べてくださり、無事に点灯。行灯は優しく足元を照らし、その光景には感慨もひとしおだったと話してくださいました。

取材を通して、花火大会が続く限り、この行灯の灯りも共に続いてほしいと感じました。

また、「おもてなし会」のメンバーからは、高齢化が進み活動の継続が課題になっているとの声もありました。この活動に興味のある方、好感を持たれた方は、ぜひ前向きなご協力をお願いいたします。



オカリナグループ「ひまわり」メンバー募集!

文・写真 大嶋啓靖

オカリナの優しい音色に癒されながら、いっしょに楽しく練習してみませんか? オカリナグループ「ひまわり」では、現在メンバーを募集しています。

練習は、県民交流広場で月2回、日曜日のお昼過ぎに行っています。使用するのはアルトC管のオカリナ。伴奏CD付きの楽譜を使って、初めての方でも楽しく取り組みます。

まずはお気軽に、練習を見に来てください!興味のある方、連絡をお待ちしています。

連絡先:(代表) 寺本久香 (86-0127)



佐用小6年生 平福の歴史を学ぶ

文・動画 大嶋啓靖

10月7日(火)、佐用小学校6年生が校外学習で平福の町を訪れ、「平福の歴史を辿る」をテーマに町の成り立ちについて学びました。

当日は、cafe えとらんぜの上杉剛さんの案内で御殿屋敷跡や旧街道を歩き、さらに平福郷土館では平福まちなみガイド・山城ガイドの春名政男さんから詳しい説明を受けました。

また、これに先立つ7月1日(火)には、上杉さんが佐用小学校で授業を行い、佐用の魅力について子どもたちが事前に学びました。

これらの授業と校外学習の様子は動画に収め、地域の皆さんにもご覧いただけるようにしました。下記のQRコードからアクセスできます。授業、校外学習の順に観ると、より理解が深まります。ぜひご覧ください。

7月1日 授業
「佐用町の3つの魅力」



<https://x.gd/lilmv>

10月7日 校外学習
「平福の歴史を辿る」



<https://x.gd/Kgriz>

庵自治会 コミュニティ助成決定!

文・写真 岡田邦雄

庵自治会が「令和7年度コミュニティ助成事業」に採択され、総額220万円の助成金を受領しました。長年の課題であった公民館の設備・備品等の充実ができ、住民の皆さんが、より快適に、より活発に交流できる環境が整い、様々な企画を1年を通して活動ができるようになりました。

▶ 備品導入で活動がさらに豊かに

コミュニティ助成金を活用して導入した備品は以下の通りです。

折り畳み式会議テーブル15台、椅子35脚、台車2台
プロジェクター、100インチ大型スクリーン
カラオケシステム、ブルーレイレコーダー
エアコン3台、プリンタ、冷蔵庫、発電機

これらの新しい備品は、「野休み芸能大会」「ふれあい喫茶」「人権学習会」等、様々なイベントで活用しています。快適な環境で活動ができる事になって、高齢者をはじめ皆さんから多くの喜びの声をいただいています。

▶ 助成事業成功の鍵は「諦めない前向きな挑戦」と「地域の連携と協力」

コミュニティ助成事業に応募する期間は2週間と短

く、申請書類の作成提出では平福地域づくり協議会や関係者の協力や連携で申請が間に合い、また申請後は佐用町職員の熱心な支援をいただき、助成事業の決定に至りました。各関係者のご支援に感謝いたします。目標達成の為に、諦めずに前向きに挑戦することの大切さと、地域住民がお互いに助け合う「互助」や「共助」が採択の成功に繋がりました。



参考) 過去のコミュニティ助成事業の実績

R4年度: 延吉自治会

R5年度: 平福地域づくり協議会

R6年度: 南新町自治会